

石西礁湖自然再生協議会全体構想作成作業グループ（第 5 回）の検討概要

日 時：平成 19 年 2 月 18 日（日）13：30～16：30

場 所：国際サンゴ礁研究・モニタリングセンター

参加委員（名簿順、敬称略）

個人：鹿熊信一郎、黒川洋一、土屋誠、灘岡和夫、前川聡、安村茂樹、吉見武浩

団体・法人：学振科研「ジュゴン沖縄個体群の保全生物学的研究」グループ、

(独)水産総合研究センター西海区水産研究所石垣支所、

美ら島流域経営・赤土流出抑制システム研究会、八重山サンゴ礁保全協議会

地方公共団体：石垣市企画開発部環境政策課、石垣市都市建設部港湾課、

竹富町企画財政課、竹富町自然環境課

国の機関：沖縄総合事務局石垣港湾事務所、環境省那覇自然環境事務所

検討概要

- ・竹富町では、生活航路について検討を行っており、「利用」の面からの部会を設置して欲しい。
- ・第 3 回自然再生協議会において、自然再生全体構想の「第 1 章 石西礁湖自然再生の取り組みに至る背景と経緯」、「第 2 章 石西礁湖自然再生の対象となる区域」、「第 3 章 石西礁湖自然再生の目標」は了承されたことから、次回協議会では「第 4 章 石西礁湖自然再生の基本的考え方」の「展開すべき取り組み」及び、「第 5 章 石西礁湖自然再生協議会委員とその役割分担」について議論を深めたい。
- ・これまで、自然再生へ向けた取り組みを検討してきたが、長期・短期目標の達成へ向けた取り組みの流れが分かるよう、以下のように再整理を行うべき。
 - * 石西礁湖における「現在の課題」
 - * その課題をもたらしている「課題の主な原因」
 - * その原因を取り除くための「原因に応じた取り組み」
- ・各委員の役割分担についてはこれまで、「石西礁湖自然再生マスタープラン」に基づいた 5 つのカテゴリとその活動例となっていたが、以下の 6 つのカテゴリとその活動例に再分類し、各委員の役割を決定すべき。

カテゴリ： 必要規制の整備、 攪乱要因の除去、 良好な環境創成、 意識の向上・広報啓発、 調査研究・モニタリング、 活動の継続
- ・各委員の役割については、個人委員については個人名を記載するのではなく、「専門家」「一般」のレベルで分ける。
- ・団体・法人については団体・法人名まで記載し「漁業者」「観光業者」など業種が分かるようにする。
- ・地方公共団体、国の機関についてはそのままとする。
- ・協議会委員以外の取り組みを期待する事項もあるため、協議会委員以外については、例えば「地域住民（○○関係）」、「沖縄県（○○関係）」等の区分で記載する。
- ・上記に基づき、資料を作成し、次回協議会において議論を行う。